

こうふ広域 **119**

# 一人一人が防災サポーター



## 力を合わせて 街を守ろう!



全国統一防火標語

# 消すまでは 心の警報 ONのまま

<http://www.kfd.or.jp>



甲府地区広域行政事務組合  
消防長 雨宮多丸

平素から、圏域住民の皆様方には火災予防や各地域での防災活動等、消防行政の推進にご理解とご協力をいただき、心より厚く御礼申し上げます。

我が国の消防は、自治体消防として発足し、今年で六十五周年を迎えようとしています。この間、制度、体制、技術等各般にわたり着実な発展を遂げ、住民の安心・安全の確保に大きな役割を果たしてまいりました。

しかし、近年は都市化の進展など社会環境の変化に伴い災害の様相も変わってきており、ゲリラ豪雨による土砂災害や中小河川の氾濫及び浸水などの災害が発生しております。また猛暑による熱中症の増加や、長崎県のグループホーム火災など災害弱者が犠牲になる事例が発生しております。

さらに、近年、「首都直下型地震や南海トラフ巨大地震」の発生が危惧され、災害に対する住民の意識も一段と高まりを見せており、われわれ消防行政に対する期待も一段と強まってきております。

最近の管内の消防事情といたしましては、昨年の火災件数は一〇八件で、前年に比べ二八件減少しておりますが、救急につきましては、一三、三五五件で前年に比べ三三七件増加しており、年々増加の一途をたどっております。これは、一日平均約三六件、三九分の一回の割合で救急車が出動し、管内の約二二人に一人が救急搬送されていることとなります。

利用状況を見ると、出動件数の約半数が軽傷者等で、言わばタクシー代わりに利用する方も少なくないため、救急車を適正に利用していただき、本当に救急車が必要な方に、一分一秒でも早く救急業務が提供されますよう、住民の皆様のご理解と、ご協力をお願いいたします。

また、住宅火災による犠牲者を無くすため、平成二十三年六月より全ての住宅に設置が義務化された住宅用火災警報器につきましては、設置率の向上、さらには管内全戸設置を目指し、職員一同努力してまいります。

今後とも、圏域住民が安心して暮らせる安全な地域づくりに邁進してまいりますので、より一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

## 秋の火災予防運動

11月9日(土)～11月15日(金)

11月 7日(木)	消防訓練 「緑ヶ丘体育館及びその周辺」
8日(金)	街頭啓発 「JR甲府駅」
11日(月)	} 防火対象物一般査察
12日(火)	
13日(水)	
運動期間中	地理・水利調査 危険物輸送車両等の立入検査

## 第28回県民の日記念行事「消防まつり」

日時	11月16日(土) 午前10時～
場所	山梨県小瀬スポーツ公園 <陸上競技場前広場>
主催	山梨県消防長会
実施項目	消防車展示・ミニ消防車試乗・防災指導車による体験プログラム 地震体験・消火訓練・煙体験・救急法実技指導・記念品配布 住宅用火災警報器普及啓発・おえかきコーナー

## 第80回甲種防火管理新規講習会開催

日時	平成25年11月27日(水)・28日(木)
場所	甲府市蓬沢一丁目15番35号 「山梨県自治会館」 定員 150名
	※ 問い合わせは、予防課 査察指導・広報係 (Tel.055-222-1284)

# 消防訓練



## 運転技能教習訓練

平成25年3月6日(水)・7(木)の2日間、甲府市の「小瀬スポーツ公園」で、消防職員の緊急車両等の運転技術の向上を図る訓練を実施しました。職員手作りのコースで、運転者・同乗者が協力して、事故を防止し、1分1秒でも早く現場に到着するために安全・的確な運転技術を向上させました。



## 甲府地区支部消防団員総合訓練大会

平成25年7月28日(日)第39回甲府地区支部消防団員総合訓練大会が中巨摩郡昭和町の「国母公園グラウンド」において開催され、甲府市・甲斐市・中央市・昭和町の消防団員888名が訓練を行いました。日夜、地域を守る為に奮闘する熱い消防魂を一糸乱れぬ動きで披露しました。



## 水難救助訓練

平成25年8月5日(月)・6日(火)の2日間、水による事故を想定し、急流による水難救助訓練を「釜無川」で実施しました。隊員は、予測が難しい川の流れと戦いながら、水難事故発生時、一刻も早く救助する為に、チームワークを強め、知識・技術を深めました。



## 局地的集団事故時の救急救護活動訓練

平成25年9月10日(火)甲斐市西八幡の「釜無川スポーツ公園」で、局地的に傷病者が発生した時の対応訓練を実施しました。傷病者の重症度と緊急度によって色分けし、治療や搬送先の順位を決定するトリアージ能力の向上や、救急隊・消防隊・救助隊及び災害医療チーム(DMAT)各隊で連携力の強化が図られました。



## 防災訓練

平成25年8月25日(日)甲府市総合防災訓練が「新田小学校」で開催されました。地域住民参加のもと、陸上自衛隊、日本赤十字社山梨県支部、甲府市消防団及び各関係機関等が、災害に立ち向かう為に、心を一つに連携訓練を行い、地域の防災力を高めました。



# 取りつけましたか？ 住宅用火災警報器 あなたの命の見張り役



## ☆住宅用火災警報器設置について

火災で重要となるのが早期発見・早期避難です。火災の発生を素早く察知できれば、いち早く避難でき、命が助かる可能性も高くなります。逃げ遅れによる死者を防ぐためにも、まだ設置していない方は早期に設置して下さい。

## ☆住宅用火災警報器を設置している方へ

- ①作動確認は、1ヶ月に1回しましょう。
- ②警報器にホコリが付くと、火災を感知しにくくなり、誤作動することがありますので乾いた布等でホコリをふき取りましょう。
- ③電池切れは、音や光で知らせてくれます。警報が鳴ったら電池交換して下さい。

## 住宅用火災警報器がついて良かった事例

### 【火災に早く気づき、命を取り止めることができた事例】

2階で寝ていた男性（79歳）が、寝室に設置してある住宅用火災警報器の警報音で目が覚めて、ベランダから屋外へ避難した。

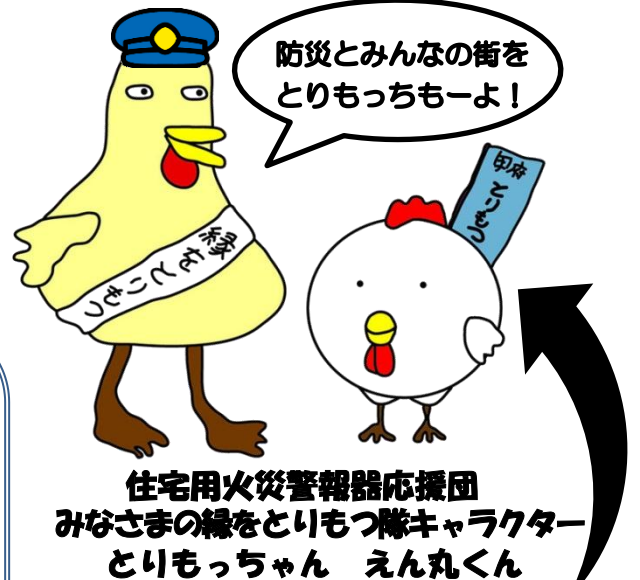
### 【隣人が警報音に気づき、火災発生に至らなかった事例】

台所でゆで卵を作ろうと、鍋に生卵と水を入れコンロに火を付けたことを忘れて買物に出かけてしまいましたが、台所の住宅用火災警報器が発報しているのを隣人が気づき119番通報した。

## ☆注意して下さい！

訪問販売などで市場価格より高額で販売する悪質な業者が発生しております。

《問い合わせ》消防本部か、お近くの各消防署へ



火災から尊い命を守るため、住宅用火災警報器設置率100%達成への強力な応援団が今年から登場しました。みなさまの縁をとりもつ隊のキャラクター『とりもっちゃん』と『えん丸くん』です！

甲府地区消防本部の住宅用火災警報器パンフレットに登場しているので、是非彼らの声を聞いてください！！

## ガソリンの貯蔵・取扱いに注意！！

平成25年8月15日、京都府福知山市の花火大会会場で多数の死傷者を出す火災が発生しました。イベント等で使用する火気の中でも、ガソリン等の危険物の貯蔵・取扱いは細心の注意が必要です。

### 留意事項

- ①ガソリンは気温が-40℃でも気化し小さな火源でも引火し爆発的に燃焼する物質です。
- ②ガソリンの携行は専用の金属製携行缶（ガソリン携行缶）に限られ、ポリタンクなど他の容器の使用は禁止されています。
- ③セルフスタンドでは利用者が自らガソリンを携行缶に入れることはできません。
- ④ガソリンを携行缶に入れて保管することは極力控えてください。
- ⑤ガソリン容器の使用時は取扱説明書をよく読み適正な取扱いをしてください。詳しくは、甲府地区消防本部のホームページを参照してください。



# 安全な暮らしを守る



## 文化財防火デーに伴う特別査察

平成25年1月25日(金) 国民的財産である貴重な文化財を火災、地震及びその他の災害から守るため、立入検査を実施しました。大切な文化財を後世に残せるように、関係者へ防火管理の徹底を指導し、地域住民の文化財愛護思想と防火意識の高揚を図りました。



### 文化財防火デーはなぜできたの？



昭和24年1月26日、法隆寺金堂にあった日本最古の壁画が焼損した事をきっかけに制定。

## 社会福祉施設・グループホーム等特別査察

平成25年2月8日(金) 長崎県長崎市で発生した認知症グループホーム火災を受け、管内の類似64施設の立入検査を実施しました。関係者に対し、防火避難安全対策を徹底し、万全な防火管理体制を確立させることを重点に指導しました。



## 春の火災予防運動街頭啓発

平成25年3月1日(金) 春の全国火災予防運動の一環として、中巨摩郡昭和町「イオンモール甲府昭和店」で街頭啓発を行いました。買い物客等を対象に火災予防啓発用品を配布し、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防を呼びかけました。



## 幼稚園・保育園特別査察

平成25年4月8日(月) から4月26日(金) まで、児童福祉週間に伴い、児童を火災や地震等の災害から保護するため、管内の幼稚園、保育園等の108施設の特別査察を実施しました。未来を担う子供達が火災で命を奪われる事が無い様、関係者に対し、さらなる防火の徹底をお願いしました。



## 救急車適正利用啓発活動

平成25年6月20日(木) 甲斐市の竜王農産物直売所「いなとうぶ」駐車場で、買い物客や地域住民に対し啓発活動を実施しました。救急車の展示や応急処置の講習、血圧測定などで救急に関心を持って頂くと共に、救命の為のご理解ご協力をお願いしました。



## 住宅用火災警報器普及啓発活動

住宅用火災警報器の設置が義務化され、全世帯への設置を目指し、防災訓練会場等において、甲府地区女性防火クラブ員による普及啓発活動を実施しました。



### 甲府地区女性防火クラブとは？

地区内女性の連帯と相互扶助の精神に基づき、家庭内の火災予防、防火思想の普及啓蒙等により、明るい住みよい町づくりに寄与することを目的としています。

限りある救急車は本当に必要としている人に!  
「救えるはずの命」を救うために

救急車の適正利用を!!

でも、こんなときは  
迷わずに  
119番



突然うまく  
話せなくなる

胸が圧迫される  
ように痛む

突然の激しい  
頭痛

意識がない  
呼吸がない

交通事故による  
強度の衝撃



スマートフォンでは、  
熱中症対策、子どもの救急などを記載  
した、「救急利用マニュアル」がご利用  
できます。  
スマートフォン・携帯電話で読み取っ  
てください!



甲府市医師会救急医療センター

一般救急業務：365日電話による対応  
(医療機関への案内等)

センター診療時間：午後7時～翌日午前7時業務  
(症状などにより他の医療機関へ案内)

地域：・甲府市全域・中央市  
・昭和町・甲斐市(旧双葉町除く)

電話番号 055-226-3399

小児初期救急医療センター

休祝日診療時間：午前9時～翌日午前7時

土曜日診療時間：午後3時～翌日午前7時

平日診療時間：午後7時～翌日午前7時

電話番号 #8000 (短縮ダイヤル)

※ダイヤル回線からおかけの場合

055-226-3369へ

地域：県下全域

診療内容：小児の急病のみ

小児の外傷(けが・頭部打撲)は、県情報センター

電話番号 055-224-4199



熱中症対策、子どもの救急などを記載  
した、「救急利用マニュアル」がご利用  
できます。  
スマートフォン・携帯電話で読み取っ  
てください!



全国では、救急車で搬送された人の約半数が入院を要しない軽症であり、救急車の不適切な利用がされているとも言われています。救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときのあなた自身のために、救急車の適正な利用をお願いします。

## ヴァンフォーレ甲府 救急関係功労者表彰



表彰式を終えた後、ヴァン君(右)、フォーちゃん(左)は消防署を見学しました。

平成25年9月9日(月)の「救急の日」に、救急関係功労者表彰式が行われました。表彰されたのは、(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブとヴァンフォーレ甲府AEDボランティア団体です。日本プロサッカーリーグ「ヴァンフォーレ甲府」のホーム試合で、スタジアムに常時5名のAEDを携行したボランティアを配置し、応急救護体制の確立や、早期に救急事案に対処できる、安心して安全なスタジアム環境を構築したことに対して表彰されました。なお、この8年間で、延べ815名のボランティアが活動し、延べ191名を救護しています。

# インフォメーション



## 第36回山梨県消防職員意見発表会

平成25年2月7日(木)「甲府市総合市民会館」で、県内各消防本部から選抜された職員が、業務に対する提言や取り組むべき課題等について発表しました。当消防本部代表の女性消防官、長田消防副団長が最優秀賞になり、県代表として関東大会に出場し優良賞を獲得しました。



- 発表テーマ  
『地域防災のグローバル化』
- 発表内容  
日本在住の外国人住民が増える一方、日本における防災の知識は薄い。防災訓練を通じ、災害時への対応を身に付けてもらう。

## 新車両登場

平成25年3月、新しく3台の車両が配備されました。特殊災害用資機材搬送車(右上:南署配備)は多くの消防活動資機材を積み活動を支援するのに役立ちます。水槽車(左下:中央署・南署配備)は、5000リットルの水を積み水の無い場所での火災に活躍します。



## 山梨県消防救助技術大会

平成25年6月5日(水)「峡南消防本部中部消防署訓練場」において第40回山梨県消防救助技術大会が行われました。当消防本部職員も7種目に出場し、個人種目で、垂直に設置された15メートルのはしごを登る『はしご登はん』の部で廣瀬消防副団長が見事優勝し、全国大会でも入賞を果たしました。



## 上級救命講習会

平成25年9月8日(日)救急医療週間中の行事の一環として、「甲府地区消防本部3階講堂」において上級救命講習会を実施しました。当消防本部職員の指導により、応急手当に関する正しい知識と技術を学び、受講した65名に修了証を交付し、命を守る輪をさらに広めました。



## 消防音楽隊対外演奏

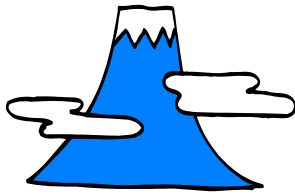
平成25年4月21日(日)甲府市の「緑が丘スポーツ公園船出広場」で行われた、第21回甲府市緑化祭りに甲府消防音楽隊が参加しました。隊員の練習は、24時間勤務終了後の限られた時間の中での練習ですが、音楽を通して、消防に親しみを感じ、防災意識を高めてもらいたい、との願いから練習を重ね、心を込めて演奏しました。



# 私たちの市・町の火災と救急



平成25年上半期  
(1月～6月)



火災件数 83件  
救急件数 6,818件  
(中央道10件を含む。)

## 甲府市

火災 50件  
焼損面積 757㎡  
損害 65,250(千円)  
救急 4,794件

## 甲斐市

(双葉町を除く)  
火災 16件  
焼損面積 172㎡  
損害 17,556(千円)  
救急 961件

## 中央市

火災 8件  
焼損面積 104㎡  
損害 1,606(千円)  
救急 571件

## 昭和町

火災 9件  
焼損面積 107㎡  
損害 8,452(千円)  
救急 482件

平成二十五年上半期の火災件数は八十三件で、昨年同期と比べると二十件の増加であります。火災による死者は昨年同期に比べ減少しているものの三名の尊い生命が失われています。出火原因は、放火(放火の疑いも含む)とたき火が十一件と最も多く、次にたばこ、ごみの焼却等によるものが上位を占めています。

放火・放火の疑いと思われる出火原因の件数は、過去五年間の統計から見ると、上位三位以内に入っています。家の中の防炎を徹底しても、屋外の見えない所からも火災は襲ってきます。放火・放火の防止の基本は「放火されない、放火させない、放火されても被害を大きくさせない」ことです。家の周りに燃えやすい物を置かないなど、一人ひとりが放火対策に心がけてください。

火災発生にはさまざまな原因がありますが、火災が発生し、尊い生命、財産が奪われ「消火器があれば」「もっと早く火災に気が付けば」と後悔しないために、自分で出来る小さな防火を少しずつコツコツ積み上げて、火災から大切なものを守る力を築きましょう。

そして、一人の防火から、近隣、地域全体へと防火の輪を広げてください。

救急件数につきましては、一万件を超える年々増加傾向にあり、平成二十五年上半期はすでに六千件を超える出動をしております。平均三十八件もの出動をしております。

「助かる命を救いたい!」救急隊の熱い思いがあります。しかし、緊急でない救急要請が後を絶たれません。脳出血や心臓病などで救急車が直ちに必要な方を救えません。その一方、救急現場に居合わせた住民による救命処置のおかげで、救われた命もあります。住民の皆様の選択次第で、消えそうな命を救える事ができます。ご理解、ご協力を宜しく願います。

火災と救急の比較

区分	25年上半期	24年同期
火災件数	83件	63件
建物火災	32件	34件
損害額(千円)	92,864	144,773
焼損床面積	1,140㎡	1,114㎡
焼損表面積	188㎡	395㎡
死者	3人	6人
負傷者	13人	9人

出火原因の比較

区分	25年上半期	24年同期
放火(疑い含む)	11件	10件
たき火	11件	3件
たばこ	10件	7件
ごみの焼却	9件	6件
火入れ	8件	2件
ガスコンロ	7件	7件
火遊び	4件	1件
石油ストーブ	0件	2件
不明・その他(調査中を含む)	23件	25件

区分	25年上半期	24年同期
救急出場件数	6,818件	6,472件
搬送人員	6,462件	6,077件

問い合わせ 甲府地区消防本部 予防課  
TEL055-222-1284 (直通)